

人種差別撤廃委員会日本審査と勧告 緊急報告

ヘイト・スピーチ対策など、待ったなし！

8月20・21日にジュネーブで開催された国連人種差別撤廃委員会日本審査では、はびこるヘイト・スピーチや排外デモ、朝鮮学校に対する差別的扱い、人種差別禁止法の不在など、日本がかかえる差別と人権の問題が大きくとりあげられました。前回審査と同じ質問を繰り返さなくてはならない委員会と、同じ返答しかしない日本政府。8月末、審査の結果である総括所見が発表され、日本はこれら問題に緊急にとりくむよう勧告を受けました。審査に参加した人たちから勧告がでてきた背景やその意義について報告をいただく集会を開きます。是非ご参加ください。

「STOP！日本のレイシズム 国連勧告の即時実施を！」

2014年 9月 17日（水）

午後6時30分～8時30分 松本治一郎記念会館 5階会議室

ジュネーブ審査・参加者による報告

ヘイト・スピーチ
朝鮮学校
アイヌ民族
琉球・沖縄
部落
移住女性・移住労働者
差別禁止法、国内人権機関
他

(順不同、変更あり)



8月19日、NGO プリーフィング

参加資料代：500円

主催：人種差別撤廃 NGO ネットワーク (ERD ネット)

参加申込・問合先：

反差別国際運動(IMADR) event@imadr.org

TEL03-6280-3101 FAX 03-6280-3102

<アクセス>

- ・地下鉄日比谷線八丁堀駅 A2 出口より徒歩 3 分
- ・地下鉄有楽町線・新富町駅 5 番出口より徒歩 7 分

